

# 愛知県歯科口腔保健基本計画の指標と中間評価一覧

## 1 アウトカム指標（10年後の目標達成状況を評価するための結果指標）

	基本方針	No	指標	健康日本21 あいち新計画 (注1)	計画 策定時	直近値 (暫定)	目標値 (H34)	データソース (策定時)	評価 (注2)
乳幼児期	歯科疾患の 予防	1	3歳児のうち歯のない者の割合の増加	☆	86.3% (H23年)	88.8% (H27年)	95%	乳幼児健康診査情報	B
	口腔機能の 維持・向上	2	3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少		14.8% (H22年)	16.2% (H27年)	10%	乳幼児健康診査情報	D
	社会環境の 整備	3	3歳児で歯がない者の割合が85%以上である市町村の割合の増加		68.5% (H23年)	81.5% (H27年)	100%	乳幼児健康診査情報	B
学齢期	歯科疾患の 予防	4	小学校3年生における第一大臼歯がう蝕でない者の割合の増加		89.2% (H23年)	92.6% (H27年)	95%	地域歯科保健業務 状況報告	B
		5	12歳児のうち歯のない者の割合の増加	☆	67.6% (H23年)	75.1% (H27年)	77%	地域歯科保健業務 状況報告	B
		6	中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 (14歳、17歳)	☆	14歳 10.5% (H23年)	14歳 10.8% (H28年)	5%	学校保健統計 【文部科学省】	D
	7			17歳 9.1% (H23年)	17歳 6.5% (H28年)	5%	学校保健統計 【文部科学省】	B	
	社会環境の 整備	8	12歳児の一人平均う蝕数が1.0本未満である市町村の割合の増加	☆	77.8% (H23年)	96.3% (H27年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	B
成人期	歯科疾患の 予防	9	20歳代(20~29歳)における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少		35.6% (H21年)	48.3% (H28年)	30%	生活習慣関連調査	D
		10	40歳で歯周炎を有する者の割合の減少	☆	27.4% (H23年)	32.6% (H27年)	20%	健康増進法による 歯周疾患検診 実施状況報告	D
	社会環境の 整備	11	40歳で歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の割合の増加	☆	50.0% (H23年)	35.2% (H27年)	100%	健康増進法による 歯周疾患検診 実施状況報告	D
高齢期	歯科疾患の 予防	12	60歳で歯周炎を有する者の割合の減少		43.2% (H23年)	44.0% (H27年)	35%	健康増進法による 歯周疾患検診 実施状況報告	D
		13	80歳(75~84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	☆	40.7% (H24年)	49.8% (H28年)	50%	生活習慣関連調査	B
	口腔機能の 維持・向上	14	80歳(75~84歳)の咀嚼良好者の割合の増加	☆	参考値 54.2% (H21年)	82.5% (H28年)	70%	生活習慣関連調査 (国民健康・栄養調査：愛知県)	A
	社会環境の 整備	15	60歳で歯周炎を有する者の割合が40%以下である市町村の割合の増加		53.7% (H23年)	53.7% (H27年)	100%	健康増進法による 歯周疾患検診 実施状況報告	C

注1) ☆：健康日本21あいち新計画と重複する指標

注2) A：目標を達成 B：策定時より改善 C：変化なし D：策定時より悪化 E：判定できない ※暫定

## 参考資料 2

## 2 プロセス・アウトプット指標（達成を導くための行動指標）

	基本方針	No	指標	健康日本21 あいち新計画 (注1)	計画 策定時	直近値 (暫定)	目標値 (H34)	データソース (策定時)	評価 (注2)
乳幼児期	歯科疾患の 予防	16	保護者による仕上げみがきが行われていない1歳6か月児の割合の減少	☆	参考値 25.0% (H22年)	6.3% (H27年)	10%	乳幼児健康診査情報 ※母子健康診査マニュアル改訂	A
	口腔機能の 維持・向上	17	2歳児の歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加		83.3% (H23年)	90.7% (H27年)	90%	地域歯科保健業務 状況報告	A
	社会環境の 整備	18	1歳6か月児歯科健康診査以前に歯科保健指導が受けられる場を設定している市町村の割合の増加		78.9% (H21年)	90.7% (H27年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	B
学齢期	歯科疾患の 予防	19	学校歯科医による健康教育を支援している施設の割合の増加(小学校)		—	46.7% (H28年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	E
		20	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加(幼稚園、保育所、小学校、中学校)	☆	25.1% (H23年)	35.8% (H28年)	40%	地域歯科保健活動 支援事業実施報告 (う蝕対策支援事業 実施報告)	B
		21	給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加(小学校、中学校)		小学生 78.3% (H23年)	小学生 76.1% (H27年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	D
	22		☆	中学生 22.5% (H23年)	中学生 23.5% (H27年)	35%	地域歯科保健業務 状況報告	B	
	社会環境の 整備	23	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加(幼稚園、保育所、小学校、中学校) 再掲	☆	25.1% (H23年)	35.8% (H28年)	40%	地域歯科保健活動 支援事業実施報告 (う蝕対策支援事業 実施報告)	B
成人期	歯科疾患の 予防	24	20歳代(20~29歳)で歯間部清掃器具を使用している者の割合の増加		27.6% (H24年)	26.3% (H28年)	40%	生活習慣関連調査	D
		25	30歳代(30~39歳)で歯周病と糖尿病との関係を知っている者の割合の増加		19.1% (H24年)	20.9% (H28年)	40%	生活習慣関連調査	B
		26	30歳代(30~39歳)で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加	☆	38.3% (H24年)	45.6% (H28年)	55%	生活習慣関連調査	B
社会環境の 整備	27	成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加		81.5% (H23年)	90.7% (H27年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	B	
高齢期	歯科疾患の 予防	28	50歳代(50~59歳)で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加		41.1% (H24年)	48.8% (H28年)	60%	生活習慣関連調査	B
		29	70歳代(65~74歳)で歯の健康づくり得点が16点以上の者の割合の増加		40.4% (H24年)	39.6% (H28年)	60%	生活習慣関連調査	D
	口腔機能の 維持・向上	30	70歳代(70~79歳)で年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加	☆	57.0% (H24年)	73.4% (H28年)	75%	生活習慣関連調査	B
	社会環境の 整備	31	成人を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加 再掲		81.5% (H23年)	90.7% (H27年)	100%	地域歯科保健業務 状況報告	B
障がい者・ 養育者・在宅 療	定期受診 困難者の 歯科口腔保健 の推進	32	障害者支援施設及び障害児入所施設での歯科検診実施率の増加		参考値 37.3% (H23年)	90.4% (H29年)	100%	障害者(児)入所施設 歯科保健サービス 提供状況調査 (障害者歯科医療ネット ワーク推進事業)	B
		33	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で入所者の口腔管理を行っている施設数の割合の増加		34.5% (H24年)	62.5% (H28年)	100%	介護サービス 情報公表システム	B
		34	在宅療養支援歯科診療所の割合の増加		5.6% (H24年)	16.1% (H29年)	15%	東海北陸厚生局 調べ	A